

アマノ販売 食育要素、生徒らPR **秋商高生とコラボ弁当**



アマノと共同開発した食育コラボ弁当をPRする生徒たち

県内でスーパーを展開するアマノ(本社男鹿市)は25日まで、秋田商業高校(秋田市)の生徒と共同開発した食育コラボ弁当「塩分控えめ 秋田愛は恋め弁当」を、同市御所野の「スーパーセンターアマノ 御所野店」で販売している。塩分控えめで、栄養バランスにも配慮した健康志向の自信作だという。

コラボ弁当は県産エダマメを入れたご飯、サケの秋田味噌漬け焼き、しょつつるで味付けした厚焼き

卵、男鹿の藻塩と「あきたしらかみにんにく」を使ったから揚げなど、県産食材をふんだんに取り入れている。862円で、各日50食限定で販売する。

塩分は3g以下に設定。野菜120g、タンパク質30gをそれぞれ摂取できる。忙しい子育て世代の母親をターゲットに据え、栄養バランスを重視した。

22日は3年の安藤七芭さん、照井さくらさん、田近彩乃さん、芋田千夏さんの4人が御所野店の総菜コーナーで弁当をPR。夫婦や家族連れらが次々と手に取り、1時間ほどで完売した。

アマノは食育活動に力を入れており、弁当は秋田商高が今年17日に開いた「AKISHOP(アキショップ)」での販売に向けて開発。6月以降、同校の2、3年生計25人でつくる食育弁当班がレシピを考案し、アマノが試作品を製造。試食と改善を経て完成させた。

アマノは毎月第4週を食育応援週間としており、これに合わせ店内でも弁当を売り出した。安藤さんは「食育で一番大切なのは食事を楽しむこと。地元のおいしい食材を活かし、彩り豊かに作った。塩分控えめだが秋田愛は濃いめ。ぜひ目と舌で味わってほしい」と話した。(北嶋彩佳)

(令和8年10月23日(金) 秋田魁新聞より一部抜粋)